

回復期リハビリテーション病棟入院料の再編・統合のイメージ

【現行】

【平成30年度改定】

【実績部分】

現行のリハビリテーション充実加算の要件である、
リハビリテーションの実績指数を用いる
(1日あたりのFIM得点の増加を示す指数)

【入院料1相当の実績】

- ・重症割合3割以上
- ・重症者の4点以上回復が3割以上
- ・自宅等退院 7割以上

【入院料2相当の実績】

- ・重症割合2割以上
- ・重症者の3点以上回復が3割以上
- ・自宅等退院 7割以上

2025点

入院料1相当の実績と体制

【入院料1相当の体制】

- ・看護職員13対1
- ・社会福祉士1名
- ・PT3名、OT2名、ST1名

2085点

リハビリの実績

入院料1相当の実績と体制

再編

2065点

充実加算

(基本部分)
看護職員
13対1
PT3名
OT2名
ST1名
SW1名

1851点

充実加算

(基本部分)
看護職員
15対1
PT2名
OT1名

1697点

充実加算

(基本部分)
看護職員
15対1
PT2名
OT1名

入院料3

入院料2

入院料1

1647点

新入院料6

1702点

リハビリの実績

新入院料5

1806点

入院料2相当の実績

新入院料4

1861点

リハビリの実績

入院料2相当の実績

新入院料3

2025点

入院料1相当の実績と体制

新入院料2

2085点

リハビリの実績

入院料1相当の実績と体制

新入院料1

【基本部分】

- ・看護職員配置 15対1
- ・PT2名、OT1名

回復期リハビリテーション病棟入院料

13 (新)回復期リハビリテーション病棟入院料